

宇田雄一「古典物理学」

空欄に入れる語が不適切ならば、トンチンカンな文が出来る。 $q(3; 6)$ はその良い例だ。

「太郎君は店で x と y を購入して帰宅し、 x に y をかけて食べました」を
「太郎君は店で x と y を購入して帰宅し、 x に y をかけて食べました」と書いて
も、混乱は起きないだろう。このような、名付けられた空欄を持つ未完成の文を、
文字式と呼ぶ。 x や y だけでなく「太」や「郎」も文字なのに、 x や y だけが文
字でもあるかのような変な名称だが、慣習に従っておく。文字式という語は、
普通は数式に対して用いられる。これを名付けた人は、数字でないということを
文字という語で表現したかったのだろう。しかし、数字は文字でないのかといふ
と、皮肉なことに数字も文字なのだ。ともかく、本書では数式以外についても文
字式を用いることにする。文字式の空欄への書き入れを代入と呼ぶ。

文字式の空欄に付ける名前としては、以下の文字を用いる。

①ラテン文字

$a b c d e f g h i j k l m n p q r s t u v w x y z$
A B C D E F G H I J K L M N P Q R S T U V W X Y Z

②ギリシャ文字

α (アルファ)	β (ベータ)	γ (ガンマ)	δ (デルタ)	ε (イプシロン)
ζ (ゼータ)	η (イータ)	θ (データ)	ι (イオタ)	κ (カッパ)
λ (ラムダ)	μ (ミュー)	ν (ニュー)	ξ (グザイ)	π (パイ)
ρ (ロー)	σ (シグマ)	τ (タウ)	ϕ (ファイ)	χ (カイ)
ψ (プサイ)	ω (オメガ)	Γ (ガンマ)	Δ (デルタ)	Θ (データ)
Λ (ラムダ)	Ξ (グザイ)	Π (パイ)	Σ (シグマ)	Φ (ファイ)
Ψ (プサイ)	Ω (オメガ)			

ラテン文字、ギリシャ文字とともに、前半が小文字、後半が大文字だ。この他にも、
書物によってはヘブライ文字を用いたりすることもあるし、特に、この文字を用
いなくてはいけない、という決まりがあるわけではない。本書では 円 という文字
を勝手に作って用いた。しかし、ラテン文字の中でも o (オウ; 小文字)と O (オウ
; 大文字)は、 0 (ゼロ)と間違えられ易いので、普通は用いられない。またギリシ
ヤ文字の中でも、ラテン文字に酷似しているものは用いられない。